

## <第 26 回定期総会 人見一夫会長あいさつ>

みなさんおはようございます。

私の方から本日の総会にあたりまして、幹事会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変お忙しい中、連合本部より松浦昭彦会長代行、そして政党からは、立憲民主党の泉健太代表、国民民主党から玉木雄一郎代表、社会民主党の福島瑞穂党首に参加いただいております。また、中央労福協、労働金庫協会、こくみん共済コープよりメッセージをいただいております。大変ありがとうございます。

さて、本日の総会も新型コロナウイルスのパンデミックの影響によりまして、代議員を絞って開催することとなりました。総会に参加できなかった代議員の皆さんや会員の皆さんについては、ライブ配信をしておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。この新型コロナウイルスのパンデミックについては、未だ収束の見通しがたっておりません。すでに、第 7 波の拡大期に入っていると考えられます。引き続き最大限に注意しながら、対面での活動も含めて創意工夫ある活動をこれからも進めたいと考えています。

7 月 10 日に行われました第 26 回の参議院議員選挙について、ひとこと触れさせていたきたいと思います。今次選挙はきわめて大事な選挙でありました。今後、2025 年まで衆議院の解散がなければ国政選挙がありません。国際情勢の大きな変化や財政、金融、そして円安・物価高、少子高齢化問題など、日本を取り巻く状況は大変大きく変化をしているところがあります。日本の進むべき道を決める選挙でありましたが、議論が深まらないまま投票日を迎えることになりました。わたしにはそのように思えてなりません。

また、選挙終盤に安倍元首相の銃撃という大変痛ましい事件が発生しました。このことも、選挙へ影響を及ぼしたと思われる。これから明らかになると思っておりますが、ぜひ事件の真相を明らかにして、私たちの平和や民主主義を守るという目標を大事にしていきたいと思っております。

選挙結果はすでに皆さんもご承知のとおりであります。自民党が単独過半数を確保し、大勝しました。維新も比例票で立憲を上回り、躍進しました。立憲民主党は敗北をしたということになっております。

連合の組織内候補は比例区が 9 人中 8 人、選挙区は 46 中 14 名の当選にとどまりました。大変厳しい結果です。今後それぞれの組織で総括が進められますが、政策がどうであったのか、また政党間の協力のあり方や消費税減税問題、物価高や金融・財政問題、社会保障や少子高齢化の問題など、日本がかかえる問題の解決策が求められていると思っております。しっかりした総括を行っていく必要があります。

自民党は黄金の 3 年間を手にしたと言われております。岸田政権がこんごどのような政策を進めるのか。岸田総理は安倍元首相が実現できなかった改憲について、しっかりやっていくと

いう発言をしています。今後の政策を、厳しくチェックしていかねばなりません。

平和と民主主義を守り、戦争をする国日本にさせないために、そして、社会保障制度をしっかり確立し、だれもが安心して暮らせる社会を目指して運動を進めていきたいと思います。今日の総会スローガンにありますように、「かけがえのない平和を、未来を担う若者につなごう」。このことを柱に、これからも連合と協力しながら、現退一致の運動を進めていきます。

日本退職者連合は昨年結成 30 周年を迎えました。この 30 年の歴史に学び、今後さらに 10 年、20 年先を見通して、日本退職者連合の運動を今後どのように進めてくのかということで、次世代継承委員会を設置し、昨日皆さんにお示した「次世代に継承すべき社会とは」というビジョンを策定しました。あるべき社会保障制度、人権、環境、核兵器廃絶、ジェンダー平等など、私たちが目指すべき社会の方向を取りまとめております。日本退職者連合が日本一の高齢者組織になるよう、これからも諸課題に取り組んでまいりたいと思っています。

ぜひ今日の総会の中で十分ご議論いただきながら、全国の仲間の皆さんとともに運動を進めていきたいと思いますので、皆さんのご協力をお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。